

氷川町立竜北中学校第2学年2組 道徳科 学習構想案

期 日 令和7年1月24日（金）第5校時

場 所 2年2組教室

指導者 教諭 俣崎 光亮

1 学習構想

主題名	強い意志（内容項目 A(4) 希望と勇気, 克己と強い意志）	
ねらいと教材	(1) ねらい どうして、喜一が幾多の困難を乗り越えられたのか考える学習活動を通して、目標の達成に向けて困難や失敗を乗り越えて努力し続けようとする態度を育てる。 (2) 教材名 氷川の火打ち石 出典：「熊本の心 中学校(熊本県教育委員会)」	
評価の視点	評価の視点 1	評価の視点 2
	困難や失敗を乗り越えるために必要なことについて、多面的・多角的に考えている。	困難や失敗を受け止めて、目標達成のために努力を続けることについて、これまでの自身の経験と重ね合わせながら考えている。
目指す生徒の姿		
困難や失敗を乗り越える際の自分に必要なことについて考え、目標の達成に向けて困難や失敗を乗り越えて努力し続けようとする生徒。		
主題に迫る課題（本時）		本主題で働かせる見方・考え方
困難や失敗を乗り越えるために必要なことは何だろう。		困難や失敗を乗り越えるために必要なことを多面的・多角的に考え、目標を達成するために大切なことについて考えること。

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所				
中学校学習指導要領「特別の教科 道徳」内容項目 A 主として自分自身に関すること 4 希望と勇気, 克己と強い意志 より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。				
本主題における系統（他教科とのつながり）				
2年総合「CS 地域学習」 地域の偉人について	2年「氷川の火打ち石」 主題名：強い意志			2年総合「立志式へ向けて」 1年間の反省・評価 来年度への展望 自分自身の志
2年総合 ゲストティーチャーを交えた 地域学習 講話「光永星郎の生涯」				2年学活「自分の適性と進路」 自分の特色と進路計画
2年総合 動画視聴 「広告の先駆者 光永星郎」				
生徒の実態（単元の目標につながる学びの実態）				
■本主題に関する意識の状況				（単位：人）
質問事項	とてもそう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
自分の意志は強いと思うか	1	1 2	1 0	0
目標を設定し、それを達成するために努力することが得意か	2	1 1	1 0	0
強い意志をもつことが重要だと思うか	1 4	8	1	0

<p>今までに達成したいと思った目標について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大会で優勝するために、毎日の短い練習をさぼらない ・合唱コンクールの伴奏を成功させるために毎日練習する ・コンクールに出場するためのオーディションに合格する 朝はやくきて練習したり昼休みにもできないところを練習する ・部活でほかの人より試合に出たい ・コンクールまでに自分の演奏を完成、後輩のサポートを頑張る ・がんばって宿題すること ・テストの順位を上げる ・テストで百点を取る ・試験に合格する ・英語のテストで50点台を目指す <p style="text-align: right;">※一部抜粋</p>
<p>目標を達成する過程で、どのような困難に直面したか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・練習をさぼってしまう ・練習してもあまりうまくならない ・自分の思っているように指が速く正確に動かない ・部活がきつかったり怒られたりした ・やる気を失う時期があった ・分からなかったから答えをみてやった ・難しい問題が出た、失敗した ・集中力が長く続かない ・なかなか手応えがない ・目標に届かない <p style="text-align: right;">※一部抜粋</p>

■考察

「自分の意志は強いと思うか」「目標を設定し、それを達成するための努力は得意か」という2つの質問に対して、「あまりそう思わない」と回答した生徒が43%いる。しかし、「強い意志をもつことが重要だと思うか」という質問に対しては、96%の生徒が肯定的な回答をしている。また、「今までに達成したいと思った目標」という項目から、生徒はこれまでに部活動や勉強に対する目標を多く設定してきたことが分かる。しかし、「目標達成の過程でどのような困難に直面したか」という項目では、部活動に関しては練習してもうまくいかないことやモチベーションの低下、学習に関しては勉強しても成績がなかなか上がらないことや集中力が続かないことなどが挙げられた。

これらのことから、強い意志をもつことの大切さについては理解しているものの、自分の意思を強くもてない（自信がない）、目標達成のための努力の継続を難しく思っている生徒が多いことが考えられる。

■教材について

本教材は、「日本電報通信社」の創業者である光永星郎さんの生い立ちを描いたものである。日本の新聞報道広告業界に新機軸を打ち立てた光永星郎さんは、そこに至るまで幾多の試練や困難に直面するが、6歳の時、母が無念の涙をじっとこらえて打ってみせた火打ち石の明かりが心の支えとなり成功を収めるに至った。

この教材では、幾多の試練や困難に直面しながらも、自らより高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり遂げた光永星郎さんの生き方に触れ、生徒は将来へ向けた希望や目標の達成のために大切なことについて考えることができる。

本教材を活用した授業では、先人の生き方と自分を重ね、自分の心に火が灯った経験から、自分の信じることを貫くことや困難や失敗を乗り越える際の自分なりの方法について考え、目標の達成に向けて困難や失敗を乗り越えて努力し続けようとする態度を育てたい。

3 指導に当たっての留意点

○令和6年度校内研究主題

「安心して学び合える学級集団づくり」～主体的・対話的で深い学びが展開されるクラスを目指して～

<p>心理的安全性を見出すための工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が発言しやすいように、導入で教師の体験談を語る。 ○全員が自由に意見を共有できるようにするために、教室内での発言を歓迎し、様々な意見を受け入れる受容的な雰囲気を作る。 ○生徒が互いの意見を尊重し、話している人の意見に耳を傾けるよう机間指導を行い、良いモデルを紹介する。
<p>主体的・対話的で深い学びになるための工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○導入では、教師の体験談から自分の経験を振り返らせることで、生徒が主題に対して自己の問題意識をもてるようにする。 ○展開では、クラス全体での話し合いに加え、小グループで話し合うことで、より多くの生徒が自分の意見を表現しやすくする。 ○終末では、振り返りの視点を示すことで、自己を見つめることができるようにする。また、振り返りの内容を全体で共有する。

4 本時の学習

(1) ねらい

どうして、喜一が幾多の困難を乗り越えられたのか考える学習活動を通して、目標の達成に向けて困難や失敗を乗り越えて努力し続けようとする態度を育てる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 本時の学習課題を知る。 ・これまでに経験した困難や失敗について、教師の体験を語る。 ○みなさんも、困難や失敗の経験はないですか。</p>	<p>○教師が失敗談などを語ることで、生徒が安心して話せる雰囲気を作る。 ○必要に応じてアンケートを活用する。 ○誰にでも挫折や失敗があることを確認する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 【学習課題】 困難や失敗を乗り越えるために必要なことは何だろう。 </div>			
展開	30分	<p>2 教材を読み、道徳的価値について考える。 (1)各場面における喜一の心の火の大きさを考える。 ○それぞれの場面で、喜一の心の火はどれくらいの大きさだったと思いますか。 ◇最初は火が灯ってないと思う。 ○困難や失敗を経験した場面では、喜一はどんなことを考えていたのだろう。</p> <p>(2)喜一の心が変化した理由を考える。 ひか ◎喜一が幾多の困難を乗り越えられたのは、どうしてだろう。 ◇母が心に火を灯してくれたから。 ◇父の生き方を見て、自分も心に火を灯して、家族を支えたかったから。 ◇高い目標があったから。 ◇自分の目指す道を諦めなくなかった。 ○喜一にはどんな心の火が灯ったのだろう。 ◇つらいことがあっても、前向きに頑張る心 ◇失敗しても、自分の道を信じる心</p> <p>【期待される学びの姿】 主人公と自分を重ねながら、自己の生き方を振り返り、さらにその経験を友達と共有することで、困難や失敗を乗り越えていこうとする前向きな気持ちをもつことができる。</p>	<p>○心情曲線を描くことで、生徒の考えを引き出すきっかけを作る。 ○喜一の心に火が灯った場面をおさえる。 ○生徒の考えを引き出しながら、一緒に心情曲線を作っていく。</p> <p>○喜一の幼少期の経験やそこに関わる人々の支えがあって、喜一が困難に負けない強い意志を持てるようになっていったことを引き出す。 ○それぞれの経験や考えを大切にしながら、多面的・多角的な視点で意見交流ができるようにする。(失敗や挫折がダメということではない。それを受け止めること。)</p> <p>[心理的安全性を見出すための工夫] ○展開では、自分と違う意見や良いと思った意見などを共有し、様々な意見を受け入れる受容的な雰囲気を作る。 ○小グループで意見を交流し、生徒が互いの意見を尊重し、話している人の意見に耳を傾けるよう机間指導を行い、良いモデルを紹介する。</p>
終末	15分	<p>3 自分の経験を振り返り、学習課題について考えをまとめる。 む ○喜一と同じように自分の心に火が灯った経験や反対に心に火が灯らなかった経験はありませんか。 ◇部活動で優勝を目指して頑張った。 ◇自分が行きたい高校(将来の夢)のために勉強を頑張っているけど、点数が伸びない。 ○困難や失敗を乗り越えるために必要なことは何だと思いますか。 ◇失敗しても諦めずにどうしたらいいか考えること。 ◇親や周りの友達を頼りながらも、困難を乗り越えられるように頑張ること。 ◇時には諦めて、別の道を探すこと。</p>	<p>○合唱コンクールなど、これまで生徒たちが頑張ってきた写真等を電子黒板に表示し、全員が自分の心に火が灯った経験を思い出すことができるようにする。 ○生徒の経験からその時の気持ちを問い返すようにする。</p> <p>○学習課題や喜一の心の変化を再確認すると共に、振り返りの視点を示し、本時の学習を振り返る。 ○全体で意見を共有し、生徒が様々な考えに触れると共に、将来やこれからの生活に希望や前向きな考えをもつことができるようにする。</p>

【評価の視点1】 困難や失敗を乗り越えるために必要なことについて、多面的・多角的に考えている。
(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】 困難や失敗を受け止めて、目標達成のために努力を続けることについて、これまでの自身の経験と重ね合わせながら考えている。(方法：発言・ワークシート)